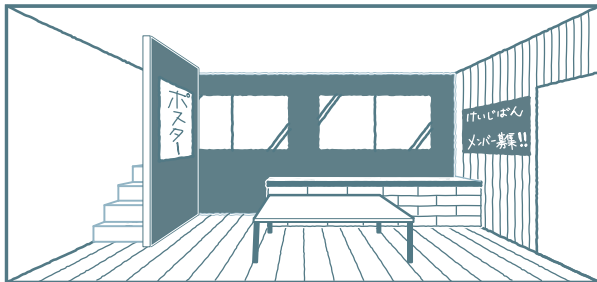
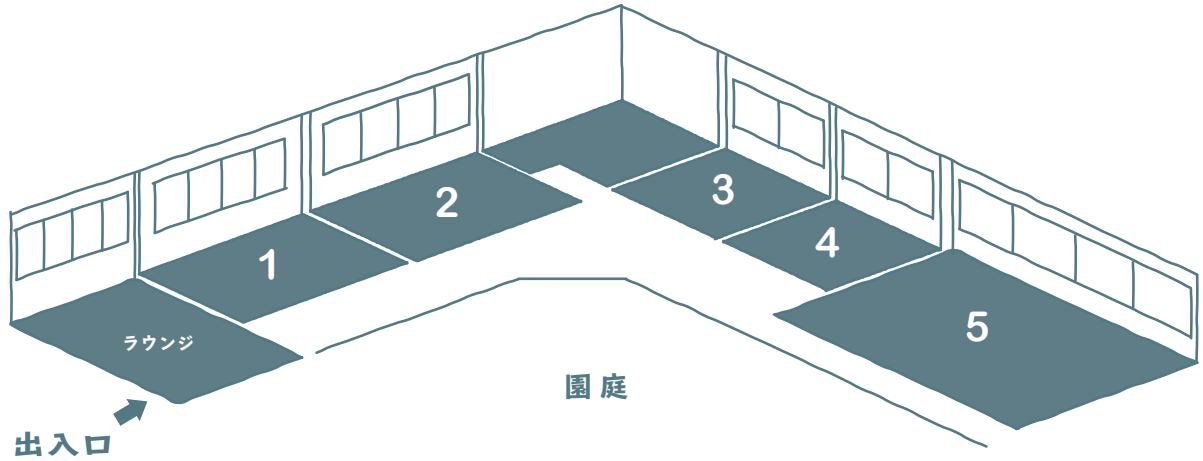


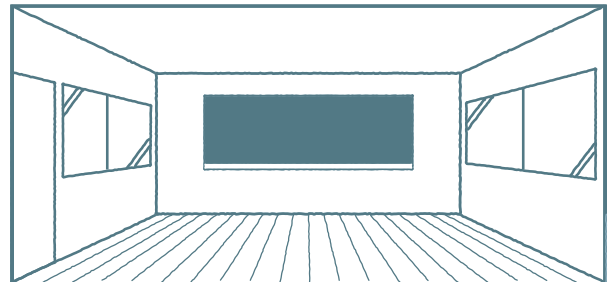
活用イメージ



ラウンジのイメージ

利用者の憩いの場。受付なども行う。
教室の使用予定表や掲示板などを設置し、
お知らせやメンバー募集など、広報の場。

飲み物等を提供できるようにして、
ちょっとしたカフェにできれば理想。
カフェをやってみたい方のチャレンジショップとして
利用してもオモシロイかもしれません!!



教室 1～5

予約制のフリースペース
全5部屋を予定中!?

ワークショップやサークル活動、各種教室、会議、
勉強会など自由に使える空間

協力隊員 河瀬による自主学习教室も行う予定!
大崎幼稚園学童クラブもこの場所で行う予定です!

良好なコミュニティは 暮らしの満足度を上げる

なぜここまでコミュニティスペースを作りたいと思っているか
についてお話しさせていただきます。

まず最初にお伝えしたいのは、
『コミュニティスペースを作るとい
うのはあくまで手段』だというこ
とです。この場所は、まちの人た
ちの活動・交流・挑戦がしやすく
なり、日々の暮らしの満足度を上
げることを目的としています。

とある建築家の方がこんなこと
を言っていました。

「人は、自分が良好なコミュニティ
の一員になれたと思えたときに満
足度が高くなり、町の価値や人
との関係性の満足度に影響されて、
暮らしの価値が変わっていく。暮
らしの価値はハコやモノだけでは
ない。」これには自分自身にも思い
当たる経験があり納得しました!

例えば、「まちにこういうお店が
できたんだよ」などと、空間やコ
ミュニティの魅力を自分のことの
ように周囲に語る人は、満足して
いる証拠なのだそう。それには『自
分がつくった』『自分が関わってい
る』という当事者意識も大切だす。

これからつくるこの場所も、ま
ちの人たちに「大崎町にこういう

ところができてさ」なんて自慢し
てもらえることが理想です。

活動人口を増やしたい

ここからは山本の個人的な考え
です。(これまでもそうでしたが)
現在、全国各地で人口が減少し
ています。人口が減っているの
外から人を呼び、交流人口を増や
して何とかしようとなるのは自然
です。ですが、私は『活動人口』
を増やすということも大切だ
と思っています。定住人口が減って
も活動人口が増えていけば、ま
ちは元気なのではないだろうか。ま
ちの中で活動する人が増えれば人
のつながりが増え、新しい動きが
生まれ、まちはより元気になると
信じています。だから私は、この
場所を通じて活動人口を増やして
いこうと思います!

(地域おこし協力隊 山本創太)

施設の名前募集中!

この施設の名前がまだ決まってい
りません。いいアイデアがあり
ましたらぜひ教えてください!
また、この場所で
「こんなことしたい」
「したらいいのに」という意見も
お待ちしております!
なにかありましたら
下記までご連絡をお願いします!!

099-476-1111 (企画調整課 山本)
y.s.013.1234@gmail.com